

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	基礎作業療法学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	403号室、木工室
担当教員	オムニバス (大島、石橋、本家、杉田)	実務経験と その関連資格	作業療法士として病院・施設に勤務し、治療として対象者に作業を実践をする。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>作業療法を実践するためには、対象者ひとりひとりにとって目的と意味のある作業を治療に組み入れることが大切である。本科目では、生活における行為・行動・動作のすべてが目的と意味のある作業であることを学ぶ。また体験した作業の作業分析を行うことで作業の特性について学ぶ。本科目での学びは、各疾患の評価学・治療学とむすびつけることで、個人的要素、社会的要素、疾患とその状況に応じて対象者ひとりひとりに適した作業を選択して治療を進めることができるようになる。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>■ 期末試験(筆記試験30%、作品点30%、レポート点36%)、平常点(態度・準備)4%で評定する。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>■ 標準作業療法学 専門分野 基礎作業療法学[第3版] ■ つくる・あそぶを治療にいかす 作業療法実習マニュアル[第2版]</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>基本的に次の通り。 事前学習(30分) 教科書を読んで予習する。 事後学習(30分) 講義内容をまとめ復習する。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>作業療法を学ぶために、作業について理解することが重要です。主体的に予習・復習に取り組むこと、分からない点は教員へ質問するようにして下さい。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	作業の概念・種類に関する知識について理解することができる		教科書	事前学習 シラバスを読む。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)	
	各コマにおける授業予定	「基礎作業学と作業」「人の行動・行為から考える作業」「人間にとって作業とは何か」について学ぶ				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	作業の概念・種類に関する知識について理解することができる		教科書	事前学習 人の進化・生活と作業・脳と作業・手と作業・身体と作業。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)	
	各コマにおける授業予定	生活行為-目的と意味のある作業				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	②作業を行うことで、身体・心・脳が発達すること、他者との交流においても重要であることについて理解をできる。		教科書	事前学習 ところと作業・学習と作業・コミュニケーションと作業。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)	
	各コマにおける授業予定	ところと作業・学習と作業・コミュニケーションと作業の意味、目的について説明できる。				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	②作業を行うことで、身体・心・脳が発達すること、他者との交流においても重要であることについて理解をできる。		教科書	事前学習 作業のクオリア・作業と結果の特性・ひとが作業すること。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)	
	各コマにおける授業予定	作業のクオリア・作業と結果の特性・ひとが作業することの意味、目的について説明できる。				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	②作業を行うことで、身体・心・脳が発達すること、他者との交流においても重要であることについて理解をできる。		教科書	事前学習 生活機能の構成・作業遂行と統合生活機能。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)	
	各コマにおける授業予定	生活機能の構成・作業遂行と統合生活機能について説明できる。				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	②作業を行うことで、身体・心・脳が発達すること、他者との交流においても重要であることについて理解ができる。	教科書	事前学習 作業分析の歴史・目的・種類。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
	各コマにおける授業予定	作業分析の歴史・目的・種類について説明できる。		
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	③作業分析の基礎学習後に、作業分析を経験し、作業分析の理解と作業分析の必要性についてより深く理解できる。	教科書	事前学習 包括的作業分析・限定的作業分析。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
	各コマにおける授業予定	包括的作業分析・限定的作業分析について説明できる。		
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	③作業分析の基礎学習後に、作業分析を経験し、作業分析の理解と作業分析の必要性についてより深く理解できる。	教科書	事前学習 作業の利用・選択。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
	各コマにおける授業予定	作業の利用・選択について説明できる。		
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	③作業分析の基礎学習後に、作業分析を経験し、作業分析の理解と作業分析の必要性についてより深く理解できる。	教科書	事前学習 ことばと作業・社会脳と作業療法。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
	各コマにおける授業予定	ことばと作業・社会脳と作業療法について説明できる。		
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	③作業分析の基礎学習後に、作業分析を経験し、作業分析の理解と作業分析の必要性についてより深く理解できる。	教科書	事前学習 作業分析Ⅲ。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
	各コマにおける授業予定	作業を分析するⅢ(精神科領域)－限定的作業分析について説明できる。		
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	③作業分析の基礎学習後に、作業分析を経験し、作業分析の理解と作業分析の必要性についてより深く理解できる。	教科書	事前学習 作業分析Ⅳ。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
	各コマにおける授業予定	作業を分析するⅣ(身体障害領域)－限定的作業分析について説明できる。		
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	③作業分析の基礎学習後に、作業分析を経験し、作業分析の理解と作業分析の必要性についてより深く理解できる。	教科書	事前学習 作業分析Ⅴ。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
	各コマにおける授業予定	作業を分析するⅤ(発達領域)－限定的作業分析について説明できる。		
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	目標①②③	教科書	事前学習 作業の技－作業が生きる条件・作業で伝えること。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
	各コマにおける授業予定	作業の技－作業が生きる条件・作業で伝えることの意味・目的が説明できる。		
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	目標①②③	教科書	事前学習 かかわり・観察・面接・評価・治療・援助。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
	各コマにおける授業予定	かかわり・観察・面接・評価・治療・援助について説明できる。		
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	目標①②③	教科書	事前学習 第1回～14回までの振り返り。(30分) 事後学習 まとめ学習。(30分)
	各コマにおける授業予定	作業分析のまとめ 作業分析の意味・目的について説明できる。		